

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	わくわくエジソン大正教室		公表日 2025年 5月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	43%	57%	・学習スペースと遊びスペースの確保	・もう少し広さが必要かなと思われる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	43%	57%	・ひとりひとりに付き添える時間がある ・叱らない、譲らない	・基準は満たしているが人手不足
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	43%	57%	・遊び、勉強のスペースはわかりやすいと思う。バリアフリーである。 ・マットなどで座り心地がよい、学習と、遊びの間が別になっている	・少し混雑しているところがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	43%	57%	・空気清浄機、加湿器、ドアの開閉で心地よくしている ・消毒などは回数を多くしているため、きれいに保っている	・状況に応じて消毒液の使い分けなどで清潔を保つ工夫はしているが建物の構造、老朽化により難しい ・移転によって、改善されると思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	43%	57%	・戸を閉めることで遮ることができている ・パーテーションの使用	・スペースに限りがあり難しい ・個別の部屋が現在はない
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	71%	29%	・目標設定などは明確にされていないが、振り返りなどは会議で出来ている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・保護者の要望を聞いて、応えられるように努力している。 ・玄関先に評価表を置いている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	・毎週行われる、教室会議などで会話を取れている。	・教室内では出来ていても全教室では難しい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	43%	57%	・定期的に外部の方に来てもらえる ・他の教室を参考にしている	・全体にどのように行っているか伝えられていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・月に数回勉強会を開催している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	86%	14%	・保護者に予定表、ホームページにカレンダーに書き込まれている ・プログラムの内容ごとで担当を変えて取り	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・子ども一人ひとりの課題を克服するためのプリント選びやトレーニング選びがされている ・管理者が電話対応、計画書を渡している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・毎週の会議にて話し合いを行い、検討できている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・教室会議、その都度話し合っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71%	29%	・子供の行動状況や勉強状況を確認し、記述している ・見やすい場所に掲示	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・保護者だけでなく、学校などとも連絡を取り合って話し合っている。 ・支援内容を共有できており、それにそった支援がおこなわれている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%	・教室会議で話し合い、各々が担当している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・重ならないように工夫している ・情報収集	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・管理者が考え、会議で共有している	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	29%	71%	・チャットワークの活用	・すぐに送迎時間となるので毎回は時間的に難しい。 ・時間的余裕がない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	29%	71%	・チャットワークの活用	・その日ではなく会議の時に話している。 ・毎日ではないので毎日行いたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・メモなどとり会議の時に話し合う ・職員間の情報共有 ・連絡帳に記載	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・都度会議で話し合っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・学校、相談事業所、子育て支援が入り話し合っている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・いつでも連絡取れる状況	・管理者が行っているが学校等との支援の質や方向性の同一化は難しい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	・面談や会議などを行っている。	・いつでも連絡取れる状況だがまだ会議はしたこと無い ・管理者が行っているが相互理解は難しい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	57%	43%	・保護者に積極的に話し合いするように伝えられている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	43%	57%	・研修を受けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	29%	71%	・一緒に活動はしていないが連絡取れる状況	・感染系で中断している ・子どもの特性上、難しい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	86%	14%	・毎回連絡帳を書いて渡し合っている ・送迎時や面談など	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	・会社が専門教授を受け入れている ・親子イベントの開催		
保護者への説明	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・見学の時や、面談の時に話している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・管理者が行っている ・意向を確認している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・同意書にサインをもらっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・保護者との連携を密にしている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	・親子イベントの開催	・親子イベントの回数は少なめであると思う ・感染系で中断している
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・相談がすぐにできる環境	

守	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・Instagram、ブログにて情報発信	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・会議で話し合い、教室の書類は持ち出さないことにしている ・鍵付き書庫の使用 ・送迎表の伏せ字	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・個々にあった伝え方の工夫 ・連絡帳、メール、電話の連絡	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14%	86%		・出掛けることはあるが招待はしていない ・感染系で中断している
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・目の届く所に掲示、半年に一度の状況設定をした避難訓練 ・マニュアルが誰でも見れる場所にある	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%	・避難訓練を定期的に行っている。 ・状況を設定しての避難の練習	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		・薬の情報は常に見れる場所にある ・基本情報に記載してもらっている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	・職員間の情報共有をしている ・基本情報に記載してもらっている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	・半年に一度の災害避難訓練	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・お手紙で配布 ・管理者が行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・繰り返しが無いよう周知している ・ファイルに残している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	86%	14%	・会社全体の会議開催 ・勉強会で行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・保護者との連携を密にしている ・管理者が行っている	